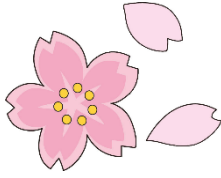


令和5年度 学生消防団活動報告

敦賀美方消防組合春季消防総合訓練



2024年3月14日

救急・災害看護研究センター

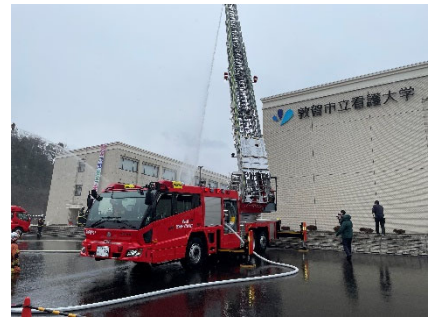
春季火災予防運動を前に、学校施設において、地震発生による火災、救急、救助事案が同時に発生した災害を想定した、令和5年度敦賀美方消防組合春季消防総合訓練が本学にて行われた。本訓練に学生消防団員6名（3年生）が参加したので報告する。

1. 活動概要

活動日時：令和6年3月5日（火）

8時30分から10時30分

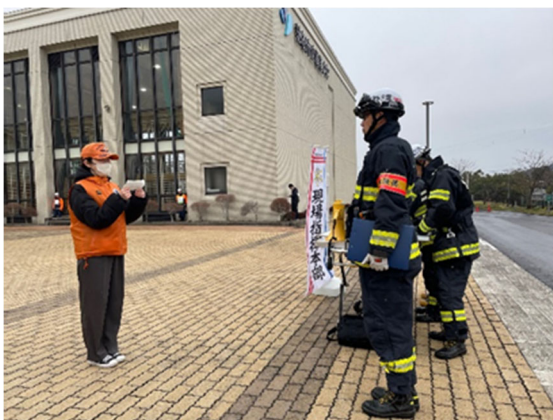
活動場所：敦賀市立看護大学



2. 活動内容

機能別班は、火災状況や避難状況を大隊長へ報告する情報伝達訓練に参加した。

その後、学生団員はそれぞれ学内に残された傷病者のトリアージ、応急救護所への搬送や、救助された方の応急手当を、これまで学んだ知識を活用しながら救急隊の補助のもと行った。うち学生1名においては、傷病者役を担当し、屋上からはしご付消防車で救出される体験をした。



3. 参加した消防団員の声

- ・初めて救急隊の方とトリアージなどを実施することができた。今回の訓練を通して大規模災害が起こった時は素早い状況判断や連携などが大切であるとわかった。
- ・トリアージを初めて経験して、START法の理解が深まった。消火活動や救助活動の関連の様子を見学できて良い経験となった。
- ・大規模な訓練で、一緒にトリアージや、報告の仕方などを学べた。消防団として災害があった時に対応できる知識をもっと身に付けたいと感じた。
- ・目の前にすると焦ってしまったり、知識があっても実際に実施してみるとではできないことがたくさんあることに気づいた。それらに気づけたことや、もう一度今日のことを復習してみようと思えて学びが深まった。
- ・特にトリアージに関して、知識だけ持っているだけでは実際の場面で動くことができないと感じた。実際に傷病者を目の前にした時に冷静に行動できるよう、普段から知識を学ぶだけでなく実践形式で繰り返し練習することでいざという時に動けるようにしたいと考えた。

